

地域おこし協力隊 活動日誌

vol.9

あぶくまカットフラワーグループ

高橋 みつえ 光恵 さん



【地域おこし協力隊に応募したきっかけ】

もともと東京電力の検針員をしていましたが、震災があったことで「福島県で農業をしたい」「福島県の復興に携わりたい」という気持ちが強くなり埼玉県から福島県へ移住しました。最初は二本松市での農業に挑戦したのですが、上手くいかず主人にも埼玉に戻ることを提案されたのですが、私自身、福島県で頑張りたいと思って移住してきたので主人を説得し、農業ができる方法を模索していたところ、川俣町でトルコギキョウの地域おこし協力隊を募集していることを知り応募しました。

【主な活動内容】

あぶくまカットフラワーの中で、トルコギキョウをはじめとし、稲作やほうれん草、スターチスの生産・出荷作業を行いながら起業するために様々なことを勉強させていただいています。また、他県の地域おこし協力隊隊員との交流や他農家さんへの見学、6次化創業塾に参加するなど川俣町での起業に向けて勉強に励んでいます。

【今後の目標】

約半年の活動期間を終え、今はもっと川俣町のことを知りたい、魅力をたくさんの人に伝えたいと思うようになりました。最近では養蜂を行っているグループや蛍の養殖・放流に取り組んでいる団体などに参加させていただいており、活動の幅を広げていきたいと思っています。農業以外にも町への移住定住に繋がるような活動をしていきたいです。

